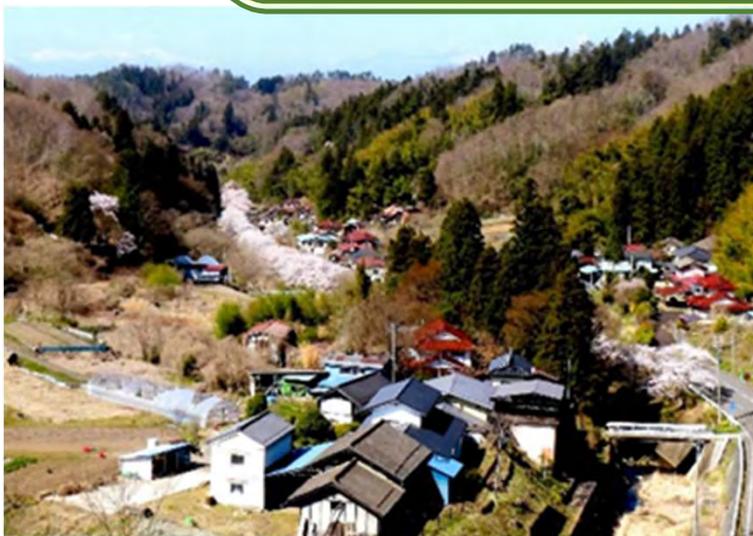


つむぎ合い響き合う里霊山をめざし
～伊達市霊山町大石地区の取組事例～



大石地区農村RMO推進協議会 「チームさすけネットりょうぜん」
事務局長 浜田 和彦

本日お話しする事

1. 自己紹介
2. 活動地域の概要（伊達市霊山町大石地区）
3. りょうぜん里山がっこうの取り組み
4. 協議会「チームさすけネットりょうぜん」について

1. 自己紹介

- 山口県出身
- 30年以上勤務した東京のIT企業を退職後、
2018年7月に伊達市の地域おこし支援員として単身赴任
- 主に担当地区（伊達市霊山町大石地区）の魅力発掘や、名峰霊山の山案内人として、地域のプロモーション活動を実施。
- 地域おこし支援員は2021年6月末で3年間の任期を終了。
7月より「かもしか創生舎」として独立し、自称地域コーディネーターとして伊達地域をフィールドとした新たな地域おこし支援活動を推進。
- 2023年6月に伊達市集落支援員（霊山町担当）就任。
- 2023年7月 RMO推進協議会「チームさすけネットりょうぜん」設立
当協議会の事務局長として活動中。

2. 活動地域の概要（福島県伊達市霊山町大石地区）



<伊達市>

- 2006年旧伊達郡 5 町が合併し設立
(保原町、梁川町、伊達町、月舘町、霊山町)
- 人口：5.7万人
- かつては養蚕業で栄えた地域
現在は桃、あんぽ柿が全国ブランドの農業地域
- 福島市のベッドタウン（適度な田舎）

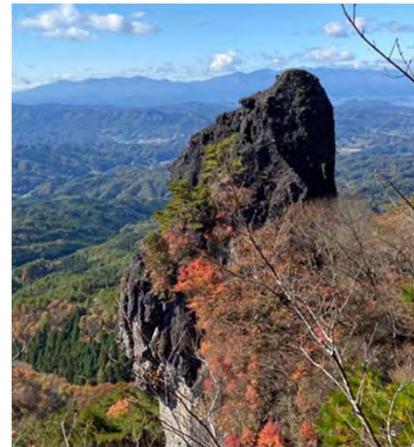


2. 活動地域の概要（福島県伊達市霊山町大石地区）



<霊山町大石地区>

- きゅうり生産を代表とする農業中山間地域
- 歴史と文化財の多い霊山町の奥座敷（名峰霊山、霊山神社、濫觴の舞・・・）
- 戸数：350戸、人口810名
- 農地面積 260ha
- 大石小学校は2021年に閉校
- 高齢化率：54%（伊達市トップクラス）



3. りょうぜん里山がっこうの取り組み

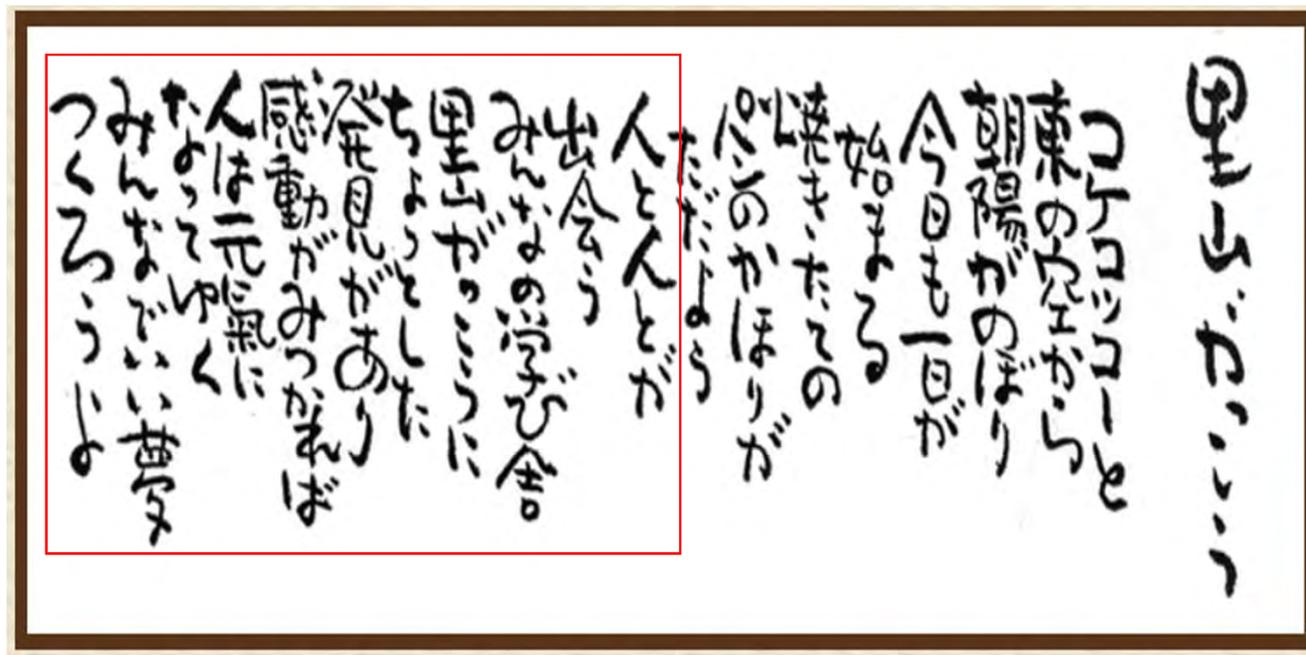
1) NPO法人りょうぜん里山がっこうとは

- 地元の元中学校を移築し、ニット工場となった建物をリフォーム
- 2000年体験交流施設として「りょうぜん里山がっこう」を創立
- 2007年N P O法人格を取得
- 主な活動
 - ・各種活動体験教室（パン・ピザづくり、体操等）
 - ・物品販売（パン工房ポレット、りょうぜん天味園）
 - ・宿泊施設運営（ほっこり里）
 - ・福島県ふるさとふくしま交流・相談支援事業
 - ・里山環境保全活動
 - ・人材育成活動
 - ・農業クラブ支援（大石3ちゃん倶楽部）



3. りょうぜん里山がっこうの取り組み

1) NPO法人りょうぜん里山がっこうとは



里山がっこうの歌

「誰でも先生、誰もが生徒」

世代を越え、みんなが元気に 出会いと交流の場づくり



高野すみ子校長と高野金助代表理事

3. りょうぜん里山がっこうの取り組み

2) 農村RMOに繋がる活動の系譜

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
地域リーダー育成 (めだかのクラス)	[Yellow bar spanning 2019-2021]				農村RMO事業 として再編
有機農業・6次化商品	[Green bar spanning 2019-2020]		[Green bar spanning 2021-2022]	[Green bar spanning 2022-2023]	
健康長寿推進			[Orange bar spanning 2021-2022]	[Orange bar spanning 2022-2023]	
地域の魅力プロモート (交流)			[Purple bar spanning 2021-2022]	[Purple bar spanning 2022-2023]	

↓ 実践・試行

← 福島県地域総合支援事業 (サポート事業) →

← 伊達市中山間地農業ルネッサンス事業 →

← 「福島に住んで。」頑張る応援事業 →

3. りょうぜん里山がっこうの取り組み

3) めだかのクラスワークショップ（期間：2019/6～2022/3）

幸せな未来創りのリーダー養成講座（通称めだかのクラス）。自分たちの里山を持続可能なより素晴らしい地域にできるように、3年間かけて自分の本当の仕事を探求し、幸せなリーダーになる事を学んでいくワークショップ（主催：りょうぜん里山がっこう、外部コンサルがファシリテート）

<1年目>

幸せな未来創りの
夢の学び
(ウォームアップ)

- ・リーダーとは？
- ・私たちの関心事は？
- ・私達の里山の未来地図を描く

<2年目>

幸せな未来創りの
夢の実践準備

- ・他地域の事例を学ぶ
- ・市場を分析する
- ・実現可能性を検証する
- ・夢を計画する

<3年目>

幸せな未来創りの
夢の実践開始
(活動の試行と評価)

- ・自身の夢に向かって現場で実践
- ・実践結果の振り返りと共有
- ・夢の学びの補完

3. りょうぜん里山がっこうの取り組み

3) めだかのクラスワークショップ



活動メンバー（夢追い人に年齢の壁はない）

3. りょうぜん里山がっこうの取り組み

3) めだかのクラスワークショップ (1年目: コンセプト作り)

私達の未来地図「つむぎあう 響きあう里 りょうぜん」



個々の夢の見える化・集約化

3. りょうぜん里山がっこうの取り組み

3) めだかのクラスワークショップ（3年目：実践・試行）

思いを同じとするメンバーでグループ分けし、個別に地域活動を計画・実践！
（各グループ活動の成果をワークショップで共有・相互アドバイス）

里山発人生100年
野菜プロジェクト
【100プロチーム】

地場野菜を栽培し、地域
ならではの6次化商品を
開発する（大豆等）

健康長寿チーム

食べる・運動する・交流す
るをキーワードに元気で長
寿な里山を目指す

里山観光資源活用
プロジェクト
【かもしかチーム】

里山の自然・文化・芸術
をフォーカスした観光資源
の魅力を発掘・発信する

◎ 人生100 百年野菜プロジェクトチーム



自家農園で大豆（タチナガハ）の収穫



収穫大豆での味噌の仕込み

☆ターゲット作物は大豆

自家農園で有機栽培された大豆を収穫し、6次化商品開発へむけて情報収集&試行



有機ボカシ肥製造ハウス



ハウス内のボカシ肥仕込み



大豆加工現地訪問
(松川町元気村
ディスカバリー)

◎ 健康長寿チーム

☆ さすけねえサロンの開催（2021/7～2022/3）

- ① 食べること 毎日の食生活を見直す。
- ② 運動すること。体力のフレイル（虚弱）対策を学び実践する。
- ③ おしゃべりをする。交流、社会参加。

をテーマにした健康長寿な社会をめざす情報交換サロン → 計8回開催！



講演「目指せ 健康長寿！」
八島利幸氏（第1回）



笑いヨガ
講師 赤間真弓氏（第5回）



健康長寿12か条（勉強会）



毎回お昼の
お楽しみ健康弁当

里山年齢 = 実年齢 * 0.8 の法則

◎交流チーム（地域の魅力プロモート）

☆伊達の魅力再発見講座の開催（計4回）

伊達地域の魅力を特定テーマで掘り下げたちょっとディープなツアー・ワークショップの企画／開催。
地元の住民の地域の魅力の再認識と、外来者のファン層を増やす。



第1回 とことん霊山
(10/30)



第2回 伊達の庶民文化
を知る(12/4)



第3回 伊達の絹文化
を訪ねて(1/15)



第4回 霊山太鼓への
いざない(3/12)

☆スマートフォン動画ワークショップ（計3回）

無料のスマホアプリを使った動画の撮影・編集
ワークショップ



4) 活動の展開 (～2023/3)

高齢者農業活性
・大石3ちゃん倶楽部



野菜を作る
じいちゃん・ばあちゃん・かあちゃん



量販店・道の駅・マルシェでの
野菜物販



土づくり勉強会 毎月開講
(EM研究機構 奥本先生)
→ 30名を超える参加者へ

健康長寿

- ・食べる、
- ・運動する、
- ・おしゃべりする
- +
- ・健康の見える化



予防医学講座 毎月開催
(遠藤博さん94歳)



里山の健康長寿食レシピ



ウォッチ+スマホで健康情報の見える化

4) 活動の展開 (～2022年)

地域の魅力
プロモート
(交流)



田んぼの学校 (計4回)
田植え～稲刈り体験
(2021年、2022年)

伊達の魅力じゅずつなぎフォーラム 伊達魅力じゅずつなぎ
なまはち伊達

“伊達で暮らす”を考える 参加者
募集
0958-820011

2023 **2/18(土)** 時間:午後1時～午後4時
会場:りょうぜん里山未来塾

本年、伊達の魅力発見ツアーを通じて伊達地域の自然・食・歴史・文化の素晴らしさに触れ、当地域がもつさまざまな魅力を実感してきました。ただ、働きへの期待・定住を希望する人にとって、これらは必ずしも十分な条件とはなりません。地域の生活環境・雇用環境・コミュニティといった現実的な魅力要件を加味し、自身のライフスタイルとマッチングして初めてこの地域で暮らすという行動が発生します。

本セッションでは、伊達地域をフィールドとして

- ・地元企業で移住を促進するための環境整備や移住者ケアを担う組織で活動している方々
- ・実際に伊達地域に移住してきた方々
- ・医療交換を行い、この地域で暮らしやすさの最新・意味について考えていきます。

伊達の魅力じゅずつなぎフォーラム
“伊達で暮らす”を考える (2/18)



りょうぜん里山未来塾 (計4回)
(福島大学学生 + 元JA福島五連会長
菅野孝志さんを囲んで (2/12))

4. 協議会「チームさすけネットりょうぜん」について

1) 協議会の設立の背景

☆これまでの活動の振り返り

- ①助成金中心の事業 → 自賄いの独立採算事業へ
・関心分野を“地域経営”へ拡大、そのための人材育成
- ②りょうぜん里山がっこう発の事業 → 他団体へ分散、外部団体の巻き込み
- ③りょうぜん里山がっこう内のコミュニティ と 大石地域内のコミュニティとのずれ
(元気で健康な高齢者だけではない一般の地域住民に対する関わり)
- ④事業主体者を高齢者から中堅・若者層へ継承 (考え方を“人口”→“人交”へ)

☆これからの里山の活性に必要な2つのキーワード

“自立” と “持続”

4. 協議会「チームさすけネットりょうぜん」について

2) 協議会の設立

大石地区農村RMO推進協議会「チームさすけネットりょうぜん」設立
(2023年7月27日)

<組織名への思い>

○“チーム”

地域を良くしたいという思いをもった有志のグループ
志があれば誰もが参加でき、ゆるやかに明るく協働で活動を行っていかう

○“さすけネット”

伊達地方の方言「さすけねえ」は「だいじょうぶ、問題ない」という意味
さまざまな困難な状況でも、この言葉で緊張を緩和し地域に住む人との良きネットワークを

○“りょうぜん”

霊山町大石地区が対象地域ではあるが、これからの事業を考えると当地区内に固執する事なく
さまざまな外部関係者含めてのダイナミックな活動が重要

4. 協議会「チームさすけネットりょうぜん」について

2) 協議会の設立

<行動指針>

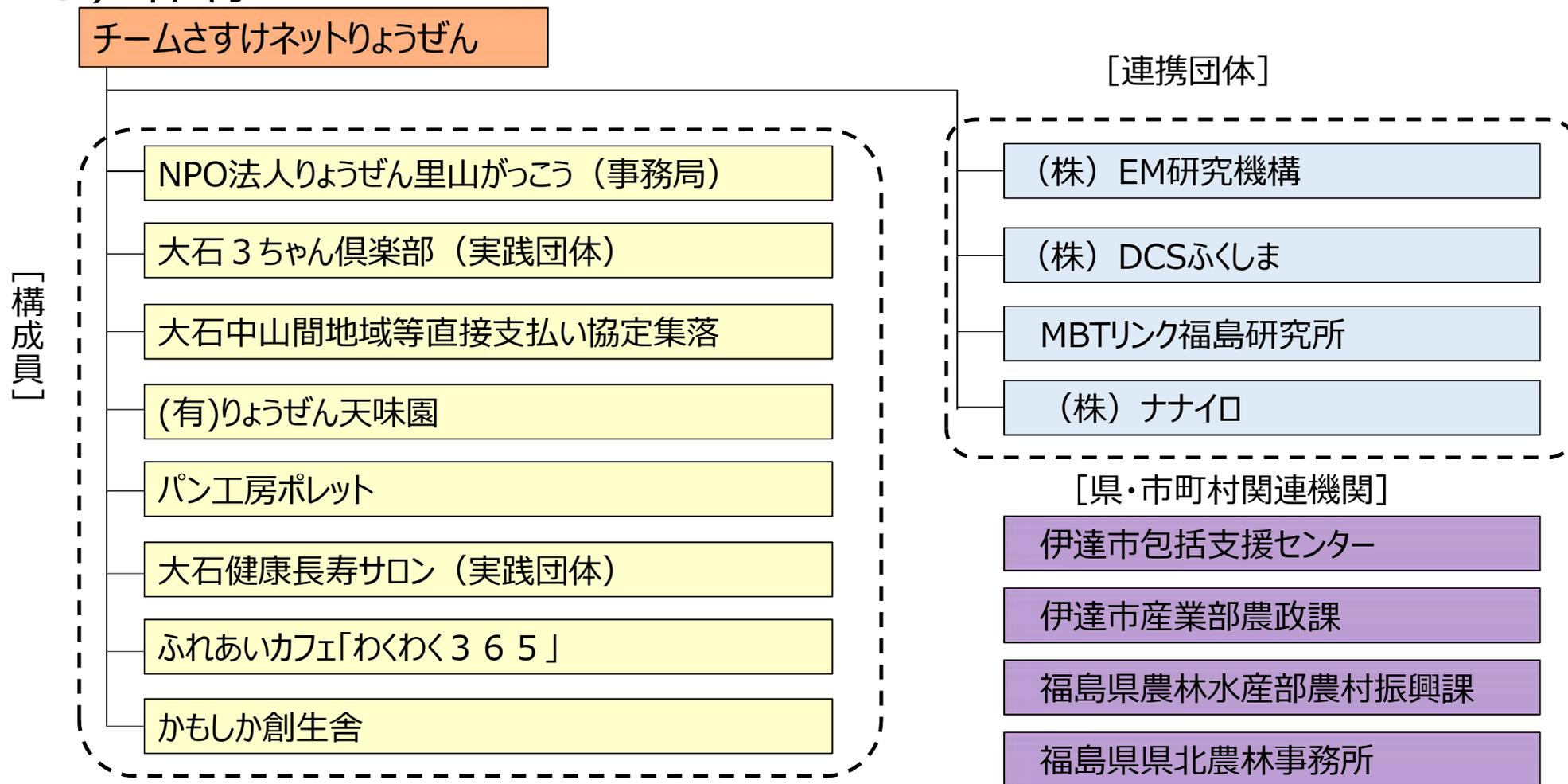
地域事を自分事ととらえ

- ・判り合い（理解）
- ・響き合い（共感）
- ・紡ぎ合い（協働）
- ・高め合う（前進） ことで

自立する地域づくり、持続する地域づくりに挑戦する。

4. 協議会「チームさすけネットりょうぜん」について

3) 体制



4. 協議会「チームさすけネットりょうぜん」について

4) 目指す方向性

①100%有機栽培での農地保全を実現し、中堅世代の農業者が核となり、高齢者の少量多品目生産・販売を拡大し、地域資源を活用した6次化商品の製造・販売も事業化して自立経営を確立する。

◎大石3ちゃん倶楽部の法人化

・現状：5ha、¥2500万 → 3年後：10ha、¥5000万（法人化）

②高齢者の健康コミュニティ・ヘルスケアに加え生活ケアを推進して、地域住民の暮らしに貢献する。

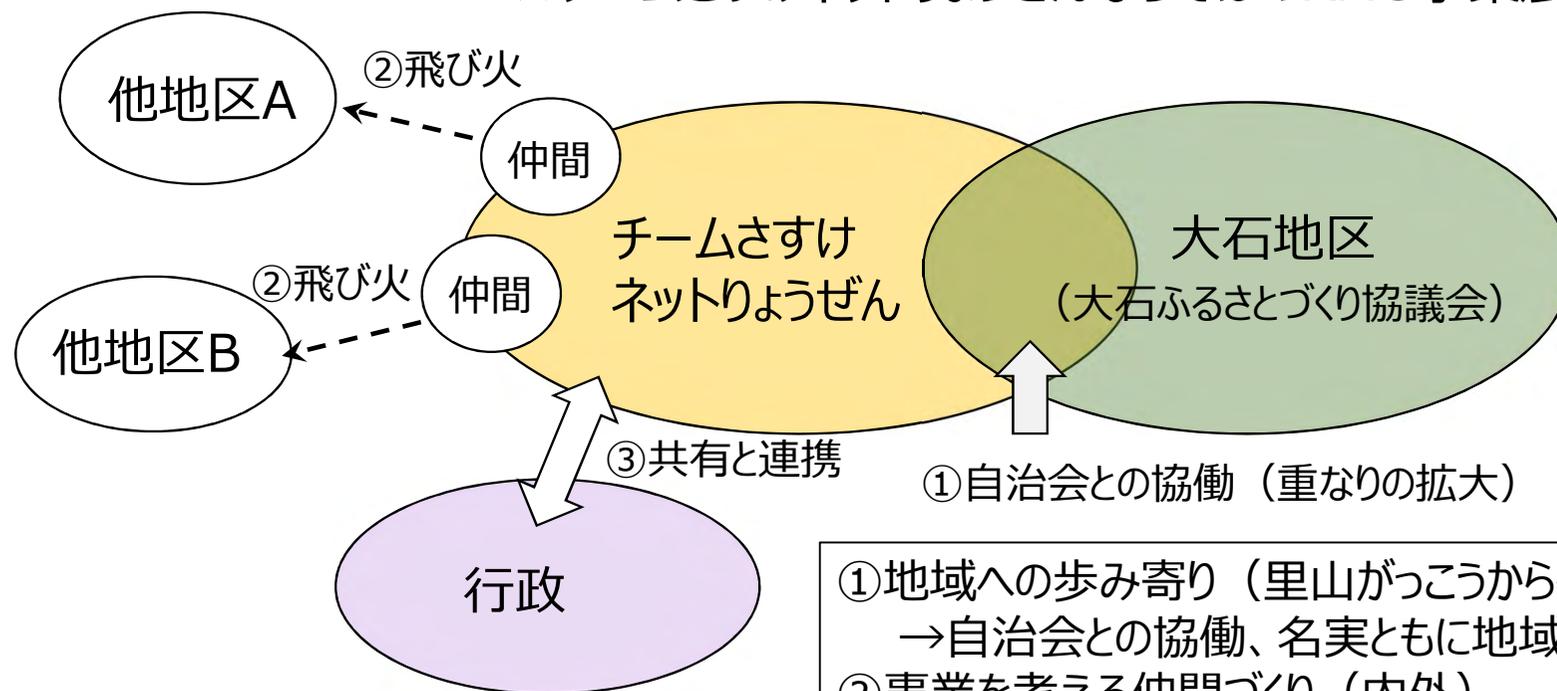
◎健康・生活ケア団体の法人化（仮称：りょうぜん暮らしの発酵）

- ・健康推進（食・運動・コミュニティ）、未病対策、健康の見える化
- ・生活見守りサービスの実用化
- ・地域包括支援センター・医療法人との連携（役割の明確化、業務の受託）

4. 協議会「チームさすけネットりょうぜん」について

4) 目指す方向性

☆ チームさすけネットりょうぜんならではのRMO事業展開



- ① 地域への歩み寄り (里山がっこうから外にでる)
→自治会との協働、名実ともに地域のサービス事業へ
- ② 事業を考える仲間づくり (内外)
→さすけネットモデルの他地区への飛び火
- ③ 行政との共有・連携強化
→積極的な情報発信活動と営業活動

ご清聴ありがとうございました